

CASBEE®

大阪 みらい

建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	D.Clarest玉造 新築工事		
建設地	東成区大今里西1丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	628.55	㎡	
建築面積	397.42	㎡	
延床面積	2,716.41	㎡	
構造/階数	RC造 / 地上9階		
完了年(予定)	2025年2月		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
B- BEE=0.9 S:★★★★★ A:★★★★ B+:★★★★ B-:★★★ C:★ 100 50 0 0 50 100 3.0 1.5 0.5 0 BEE=1.0 0.9 0.5 0 環境品質 G 環境負荷 L		★★★★★ 30%:★★★★★ 60%:★★★★ 80%:★★★ 100%:★★ 100%超:★ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 100% 99% 99% 99% 0 46 92 138 184 (kg-CO₂/年・㎡) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです		Q2 サービス性能 Q3 室外環境 (敷地内) LR3 敷地外環境 LR2 資源・マテリアル LR1 エネルギー Q1 室内環境 5 4 3 2 1 ラベル表示 有	
2-4 中項目の評価(バーチャート)					

Q 環境品質			
Q のスコア= 2.7			
Q1 室内環境		Q2 サービス性能	
Q1のスコア= 3.2		Q2のスコア= 2.8	
5 4 3 2 1 音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境 3.6 3.0 2.7 3.8		5 4 3 2 1 機能性 耐用性・信頼性 対応性・更新性 2.6 3.0 2.8	
Q3 室外環境 (敷地内)		Q3のスコア= 2.1	
5 4 3 2 1 生物環境 まちなみ・景観 地域性・アメニティ 2.0 2.0 2.5			

LR 環境負荷低減性			
LR のスコア= 3.0			
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル	
LR1のスコア= 2.9		LR2のスコア= 3.1	
5 4 3 2 1 建物外皮の熱負荷 自然エネルギー 設備システム効率化 効率的運用 3.0 2.0 3.1 3.0		5 4 3 2 1 水資源保護 非再生材料の使用削減 汚染物質回避 3.0 3.1 3.3	
LR3 敷地外環境		LR3のスコア=3.0	
5 4 3 2 1 地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮 3.0 3.0 3.1			

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・室内環境やサービス性能に配慮し、環境品質の向上に努めた		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・主要内装建材にF☆☆☆☆製品を使用し、空気質環境の向上に努めた	・配管に硬質塩化ビニル管といった長寿命材を採用している	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・BEI=0.99	・ODPが低い発泡剤を用いた断熱材等を採用している	・光害対策に十分に配慮した計画

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.9

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.0
配慮事項	・LCCO2排出率=99%	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	低・中木の植栽等の緑地を整備し、敷地内温熱環境の向上に努める	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項	・等級3を満たす	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.1
配慮事項	・BEI=0.99	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BEI][BEIm]
	等級3 (相当)	-
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.99	0.99
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		-